

MIT×デロイトに学ぶ DX経営戦略(第7回)

デジタルリーダーシップに違いをもたらすものは何か？

2022.01.17

これまでのリーダーシップとの違いはどこにあるのか？



当然のことながら、優れたデジタルリーダーシップにおいて、従来のリーダーシップと比べて多くのことが変わらないというのは、「何も」変わらないという意味ではない。組織の環境が変わるにつれて、優れたリーダーに求められるスキルもいくらか変わるだろう。ただ、そのスキルの特徴がデジタル環境でどのような形で現れるかについては、それが前の環境でどのような形で現れていたかによって異なるかもしれない。

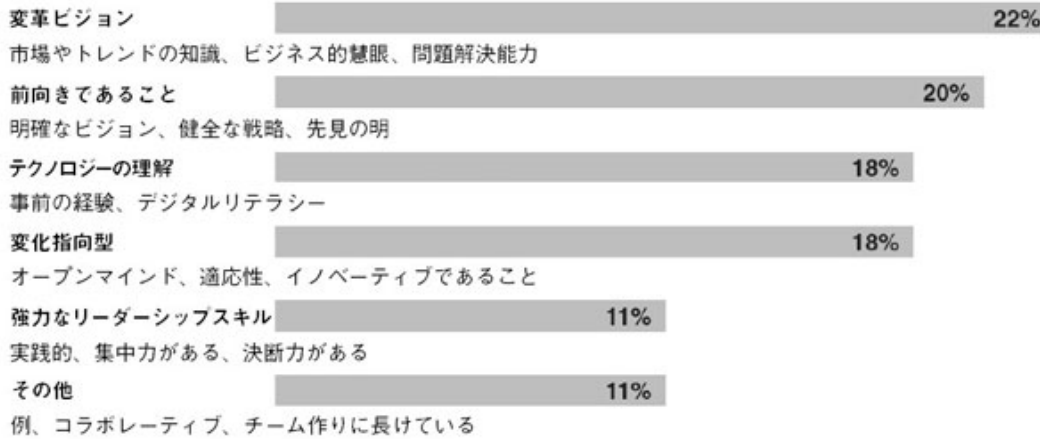
例えば、優れたリーダーの中には並外れたコミュニケーションスキルがあり、他者の気持ちをかき立てることができる人がいる。とはいえ、有能なリーダーが現在の環境で用いるコミュニケーションのツールとプラットフォームは、ほんの数年前に使われていたツールとはかなり異なる。私たちは現在、スラック、フェイスブックの企業向けSNSであるワークプレイス、ヤマー、ジャイブなどの世界に生きている。10年前なら、質問や議論への迅速な対応として通用したスピード感が、今やひどく遅いと見なされる場合がある。効果的なコミュニケーションをする人は、コミュニケーションの目的にふさわしい、利用可能な最高のツールを用いる。現在の環境で効果的なコミュニケーションを図るために、マネジャーはメールの使い方も再考する必要もあるだろう。

ほかに挙げるとすれば、「信頼」だろう。ご存じのように、社員、顧客、その他ステークホルダーとの信頼の確立は、優れたリーダーシップの重要な特徴の1つである。だが、徹底的な透明性が期待されるデジタル環境でリーダーが築く信頼のプロセスは、かつて用いられていたプロセスとはまったく異なる。少し前までは、問題に公式にあるいは非公式に対処して、組織はある種のタイプの情報を適切にコントロールできた。現在の情報化社会では、どんな情報であれ隠したままにしておけるとは思っていない。リーダーはあらゆる状況に公式に対処できるように備えるべきだ。つまり、リーダーたちは異なるやり方を用いて、かつて生み出していた信頼と同じような信頼を生み出さなくてはならないのだ。

デジタルリーダーに求められるスキルとは？

デジタル環境でどのスキルと能力が重要なのか理解するために、私たちは調査対象者に質問を投げかけた。

デジタルワークプレイスで成功するために組織のリーダーがもつべきスキルのなかで
もっとも重要なものは？（一つの質問につき一つのスキルのみ選択可能）



回答から、リーダーはテクノロジーを理解する必要があることがうかがえたが、テクノロジーのスキル自体は、効果的なデジタルリーダーシップにとって必須の条件ではない。デジタルリーダーシップは、デジタルディスラプションがもたらした新たなビジネス環境の中で指揮を執るが、テクノロジーに精通することが中心ではない。

①変革ビジョンと②前向きな展望

ビジョンと方向性を授けることは、従来リーダーシップにとって不可欠な要素である。だが、この2点はデジタル環境において未来の変化に重きを置いた新たな重要性を帯びる。私たちの調査で、回答者が一番重要なスキルとして選んだのは、変革ビジョンを構築することだった(22パーセント)。これには、市場とトレンドの知識、ビジネス的慧眼、高い問題解決能力などが含まれる。二番目は、前向きであること(20パーセント)で、明確なビジョン、健全な戦略、先見の明などが含まれる。こうした一連のスキルは明らかに互いに関連している。

二番目のスキルは、テクノロジーによるビジネストrendの進化を理解することであり、一番目のスキルは、こうしたtrendに対応して企業を導く能力だと、私たちは解釈している。ビジョンとは、必要とされる変化に、目的と方向性を与えることだ。求められる変化の大きさを考えると、この変革ビジョンはとても重要である。

デジタルリーダーに求められるリテラシーとマインドセット… 続きを読む